

項目	内容
名称	オレアノール酸、カリオフィリン [英]Oleanolic acid、caryophyllin [学名]-
概要	オレアノール酸は、オレアナン骨格をもつトリテルペンのひとつである。オリーブから初めて単離され、今では広く植物に分布していることが知られている。
法規・制度	■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・分子式 $C_{30}H_{48}O_3$ 、分子量456.71、融点310℃、無色針状晶 (32) 。
分析法	・ムラサキイノコヅチのオレアノール酸をHPTLCで分析した報告がある (101) 。
有効性	
ヒトでの評価	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。

免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(31) 理化学辞典 第5版 岩波書店 (32) 生化学辞典 第4版 東京化学同人 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101) J Planar Chromatogr. 2010;23(4):289-92. (PMID:15043991) Life Sci. 2004 ;74(22):2769-79.